EDIFIER

TickTock Bluetooth-MF240BT™

Bluetooth Alarm Clock Speaker System with FM Radio

ユーザーズガイド

目次

ご使用前にお読みください……7
付属品の確認…… 10
本製品の特長…… 11
各部の名称と主な機能…… 12
LCD 表示について …… 14
電源の準備（AC アダプターの接続） …… 16
スピーカーとオーディオケーブルで接続する…… 17
時刻を設定する…… 18
アラーム設定…… 19
アラームが鳴動した場合 …… 20
スリープタイマー…… 22
スピーカーと Bluetooth で接続する …… 23
ラジオを聴く…… 25
放送局を選局する …… 25
地域を選択する …… 25
放送局を自動的に検索してプリセットする …… 25
プリセットされた放送局を選局する …… 26
手動で周波数を調整する …… 26
音声をミュートする…… 27
困った時は…… 28
仕様…… 29
ユーザー登録について…… 30

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用の際には、必ず以下の記載事項をお守りください。
- ご使用の前に、必ず本書をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上でご使用ください。
- 別紙で追加情報が同梱されている時は、必ず参照してください。
- 本書は保証書と一緒に、大切に保管してください。

ご使用になる前に

● 通信機器と接続して使用する際は、各機器の取扱説明書をお読みの上、使用環境条件等を守って正しくお使いください。

● 本製品を小さいお子様がいる環境に設置する際は､安全をご確認の上設置してください｡ワイヤレスコントローラーを誤って口に入れたり、スピーカー本体が倒れるなどした場合、大変危険です。

● 本製品を、本書に記載されている以外の用途に使用しないでください。

安全上のご注意

本製品のご使用に際しては、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、必要な時すぐに参照できるように、本書を大切に保管しておいてください。
本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています｡その表示と図記号の意味は次のようになっています｡内容をよくご理解の上、本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容が記載されています。
⚠警告	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うなど人身事故の原因となる可能性がある内容が記載されています。
⚠注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性がある内容が記載されています。

図記号の意味	
⚠	注意を促す記号（記号の中や近くに警告内容が記載されています）
⃠	行為を禁止する記号（記号の中や近くに禁止内容が記載されています）
❗	行為を指示する記号（記号の近くに指示内容が記載されています）

⚠危険

⃠ **お子さまの手の届くところに本製品を放置しないでください。怪我や破損の原因になります。**

⚠警告

⃠ 発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。ただちに本体の電源スイッチを切り、ケーブルを抜いてください。煙が出なくなってから販売店に修理を依頼してください。

⃠ 内部に水などの液体が入った場合、異物が入った場合は、まず最初に本体の電源スイッチを切り、ケーブルを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。

浴室等、湿気の多い場所では使用しないでください。火災、感電の原因になります。

本製品に水を入れたり、濡らしたりしないようにしてください。火災、感電の原因になります。海岸や水辺での使用、雨天、降雪中の使用には特にご注意ください。

⃠ 本製品を落とす、ものをぶつけるなどの衝撃が加わった場合や破損した場合は、本体の電源スイッチを切り、ケーブルを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。

⃠ 本製品の上に、花瓶、コップ、植木鉢、化粧品や薬品などの入った容器、アクセサリなどの小さな金属物等を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因になります。

本製品を分解、改造しないでください。火災、感電、破損の原因になります。

⃠ スピーカー内部に金属片や異物などを落とさないでください。ショートや発熱を起こし、火災の原因になります。

⃠ 熱器具の近くや直射日光の当たるところには設置しないでください。火災の原因になります。

⃠ ケーブルが損傷（芯線の露出、硬化してひび割れている、断線など）した場合は、ただちに使用を止めてください。そのまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。

⃠ ケーブルの上に重いものや本製品を載せる、ケーブルを傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張るなどはしないでください。コードが破損して火災、感電の原因になります。

⃠ オーディオケーブルを人が通るところなどひっかかりやすいところに這わせないでください。躓いて転倒したり、スピーカーが落下し、怪我や事故の原因になります。

⚠注意

調理台や加湿器のそばなど、油煙や湿気が当たる場所には置かないでください。火災、感電の原因になることがあります。

窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たるところなど異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災、感電の原因になることがあります。

ぐらついた台の上や、傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。また、設置場所の強度は、重みに耐えられるものにしてください。落ちたり、倒れたりして怪我の原因になることがあります。

高いところに設置する場合は、不意な衝撃があっても落下しないよう固定してください。固定しないまま使用しますと、落下し、怪我や事故の原因になります。また、高いところへの設置作業は、足元が不安定になりますので、十分注意してください。

電源を入れる前には、再生機器の音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になることがあります。

音楽の再生前に、再生機器の音量をご確認いただき、徐々に音量を上げてください。急激に音量を上げると、破損の原因となる場合があります。

万が一の事故防止のため、すぐにケーブルを抜けるようにしてください。

長期間本製品を使用しない場合は、安全のために必ずケーブルを抜いてください。

お手入れの際は、安全のためケーブルを抜いてください。

濡れた手でケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。

ケーブルを抜く時は、ケーブルを引っ張らず必ずコネクター部をもって抜いてください。ケーブルが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

定格を超える入力を入れた状態や、長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

ご使用前にお読みください

本製品で使用する電波について

本製品は 2.4GHz 帯域の電波を使用しています。本製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下の注意をご確認ください。
以下の近くでは使用しないでください。

- 電子レンジ / ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- IEEE802.11b/g/n 無線 LAN 機器

上記の機器などは Bluetooth と同じ電波の周波数帯を使用しています。上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。

2.4GHz 帯使用の無線機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに機器の使用を中止した上、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）については、弊社カスタマーサポートへお問い合わせください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、弊社カスタマーサポートへお問い合わせください。

良好な通信のために

- 他の機器とは、見通し距離で約 10m 以内で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと通信できないことがあります。
- 電気製品（AV 機器、OA 機器など）から 2m 以上離して通信してください。（特に電子レンジは通信に影響を受けやすいので 3m 以上離してください。）正常に通信できなかったり、テレビ、ラジオなどの場合は、受信障害になる場合があります。
- 無線機や放送局の近くで正常に通信ができない場合は、通信場所を変更してください。
- 使用しない時は、本製品の電源を切っておくことをおすすめします。他の Bluetooth 機器からの接続要求に応答するために常に電力を消費します。

無線 LAN 機器との電波障害について

- IEEE802.11b/g/n の無線 LAN 機器と本製品などの Bluetooth 機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、お互いを近くで使用すると、電波障害が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。

テレビ / ラジオを本製品の近くでは、できるだけ使用しないでください

- テレビ / ラジオなどは Bluetooth とは異なる電波の周波数帯を使用しています。そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信やこれらの機器の通信に影響はありません。ただし、これらの機器を Bluetooth 製品に近づけた場合は、本製品を含む Bluetooth 製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません

- 本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用される木材やガラスなどは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されていると通信できません。

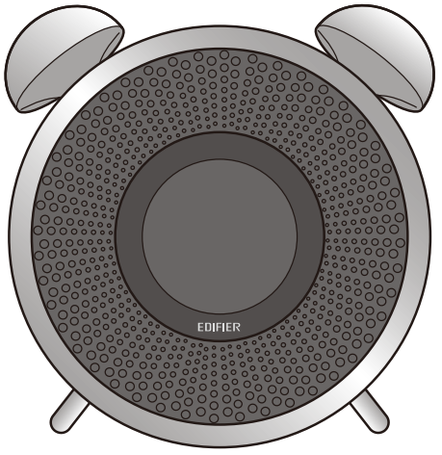
- 携帯電話および本製品は電波を使用しているため、第三者に通話を傍受される可能もありますので、ご留意ください。

アクセサリ（付属品）について

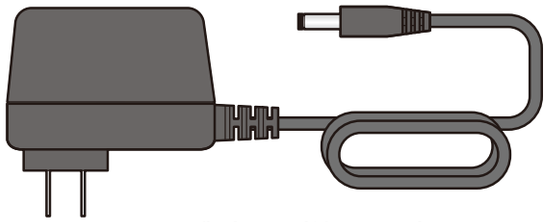
- 「3.5mm ステレオミニプラグケーブル」は保証の対象になりません。
- 故障や紛失した場合は、弊社ホームページ (P.30) の製品ページをご確認ください。

付属品の確認

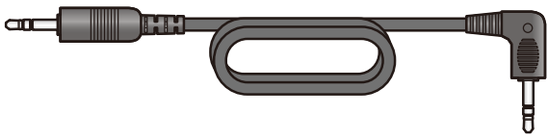
本製品のパッケージの内容は、次のとおりです。お買い上げのパッケージに次のものが同梱されていない場合は、販売店までご連絡ください。



本体



ACアダプター（約1.5m）



3.5mmステレオミニプラグケーブル（約0.8m）

ユーザーズガイド
保証書
（本書）

本製品の特長

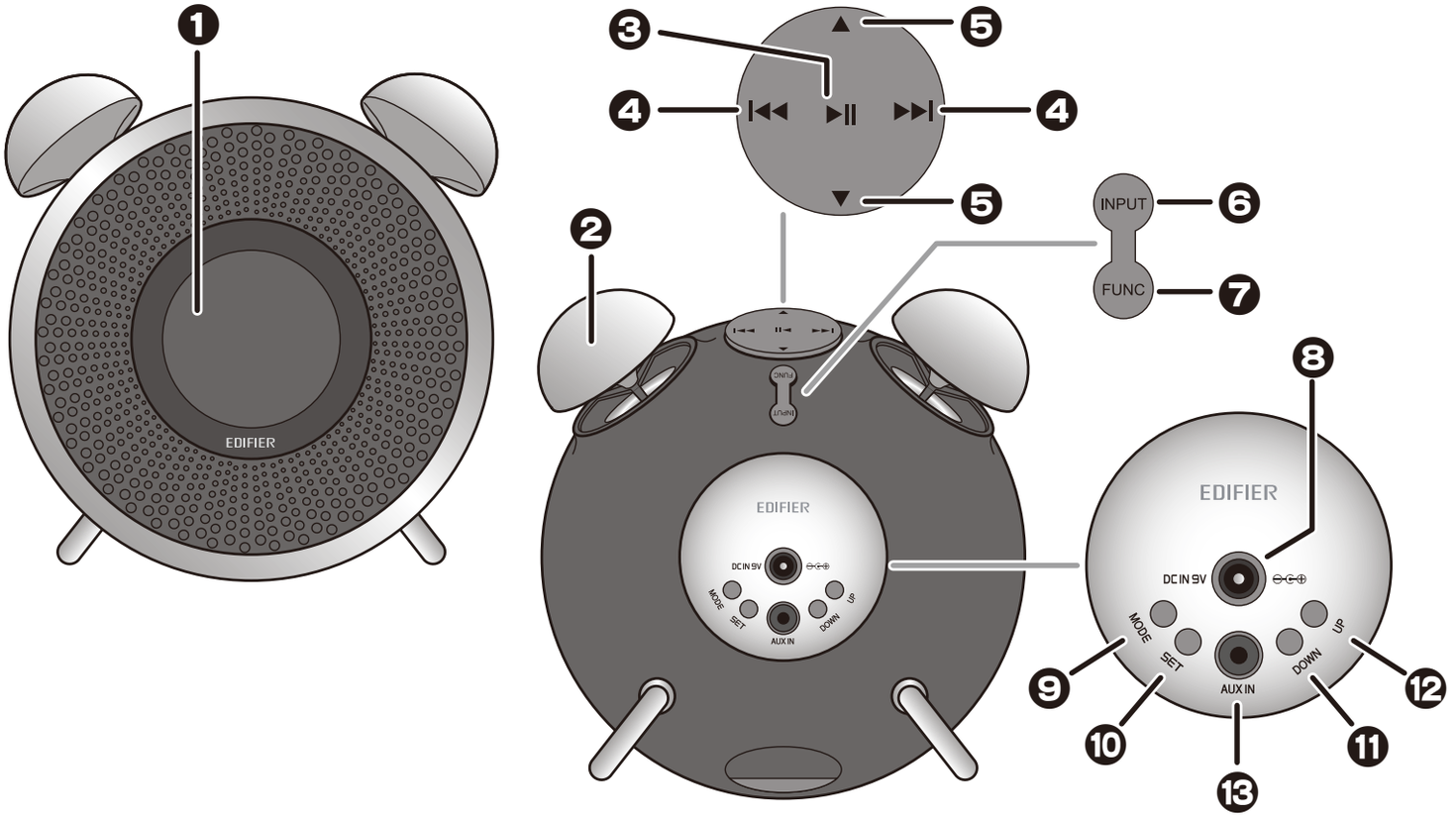
- 目覚まし時計タイプのユニークなデザイン。
- FM ラジオを使った目覚まし機能搭載。アラームを止めても 10 分後に再度鳴り始めるスヌーズに対応。
- 15 分から 90 分まで、15 分間隔で設定できるスリープタイマー搭載。
- スマートフォンに標準採用されている Bluetooth 接続に対応。iPhone や Android スマートフォンなどをワイヤレスで接続可能。
- オートスキャンで簡単選局可能な FM ラジオ搭載。最大 24 局プリセット可能。
- iPod などのオーディオプレーヤーでも使用できる 3.5mm ステレオミニジャックを搭載。

⚠注意

スピーカーを使用する場合のご注意

ディスプレイの近くで長時間使用した場合、帯磁によって画面に異常が発生することがあります。自動消磁機能付きのディスプレイもありますが、そうでないものは手動で消磁する必要があります。消磁の方法につきましてはディスプレイの取扱説明書をご確認ください。

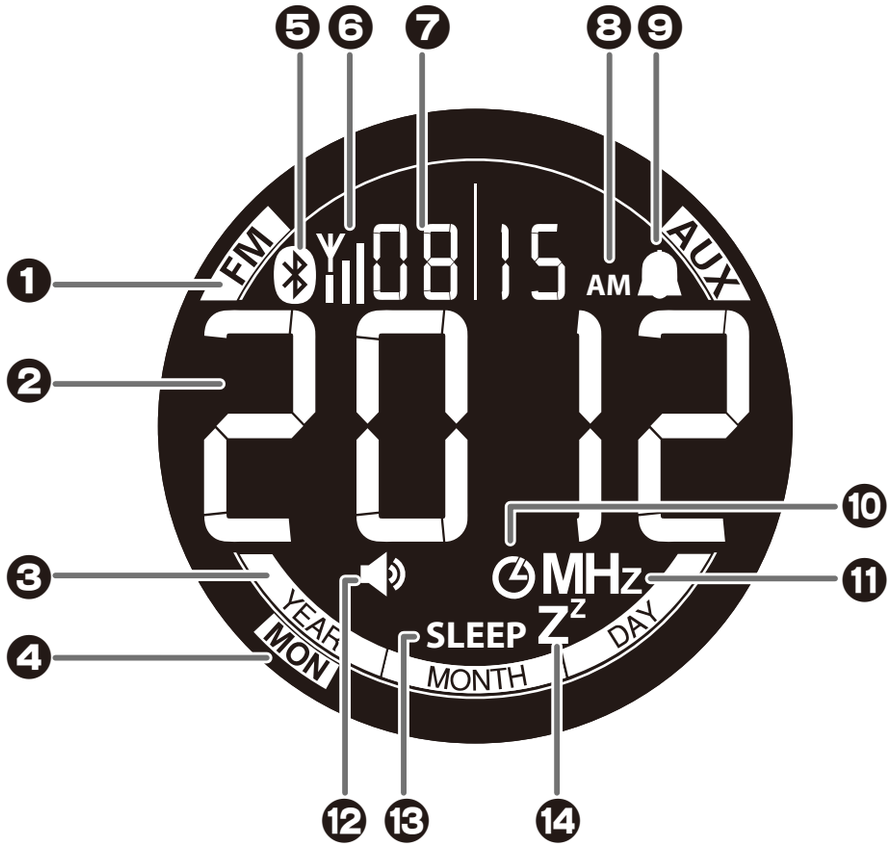
各部の名称と主な機能



❶	**LCD**	電源がオンの時に点灯し、日時など様々な情報を表示します。
❷	**スピーカー**	
❸	**再生／一時停止**	音声の再生／一時停止
❹	**スキップ／周波数調整**	Bluetooth 接続時＝前（次）の曲へスキップ ラジオ使用時＝周波数の調整
❺	**音量調整**	スピーカーの音量を調節します。
❻	**INPUT**	ボタンを押すごとにソースを切り替えます。（FM ／ Bluetooth ／ AUX）

❼	FUNC	周波数の調整などに使用します。
❽	**AC アダプター接続端子**	AC アダプターを接続します。
❾	MODE	ボタンを押すごとに各モードを切り替えます。 （時刻／アラーム／スリープタイマー）
❿	SET	各モードの設定を行います。
⓫	DOWN	設定値を変更します。
⓬	UP	設定値を変更します。
⓭	AUX	外部音声入力。3.5mm ステレオミニプラグケーブルを接続します。

LCD 表示について

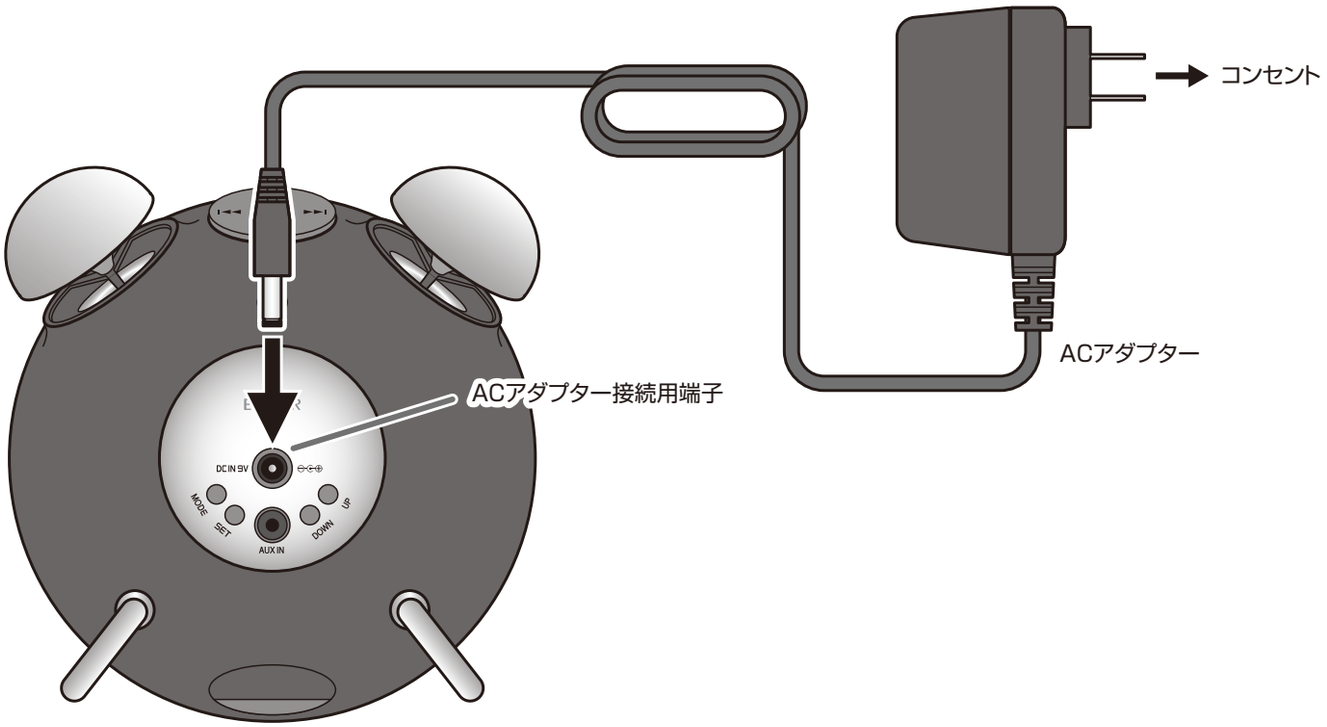


❶	再生中のソースを表示（FM/AUX）
❷	時刻／周波数／ボリューム 等を表示
❸	時刻設定時に設定中の項目を表示（年／月／日）
❹	曜日を表示
❺	Bluetooth 使用時に表示
❻	電波状態を表示
❼	月日／アラーム設定番号 等を表示
❽	アラーム設定時に午前／午後を表示

❾	アラーム設定時に表示
❿	時刻設定時に表示
⓫	ラジオ再生中に表示
⓬	ボリューム設定時に表示
⓭	スリープタイマー設定時に表示
⓮	スヌーズ起動時に表示

電源の準備（AC アダプターの接続）

AC アダプター接続端子に AC アダプターを接続します。



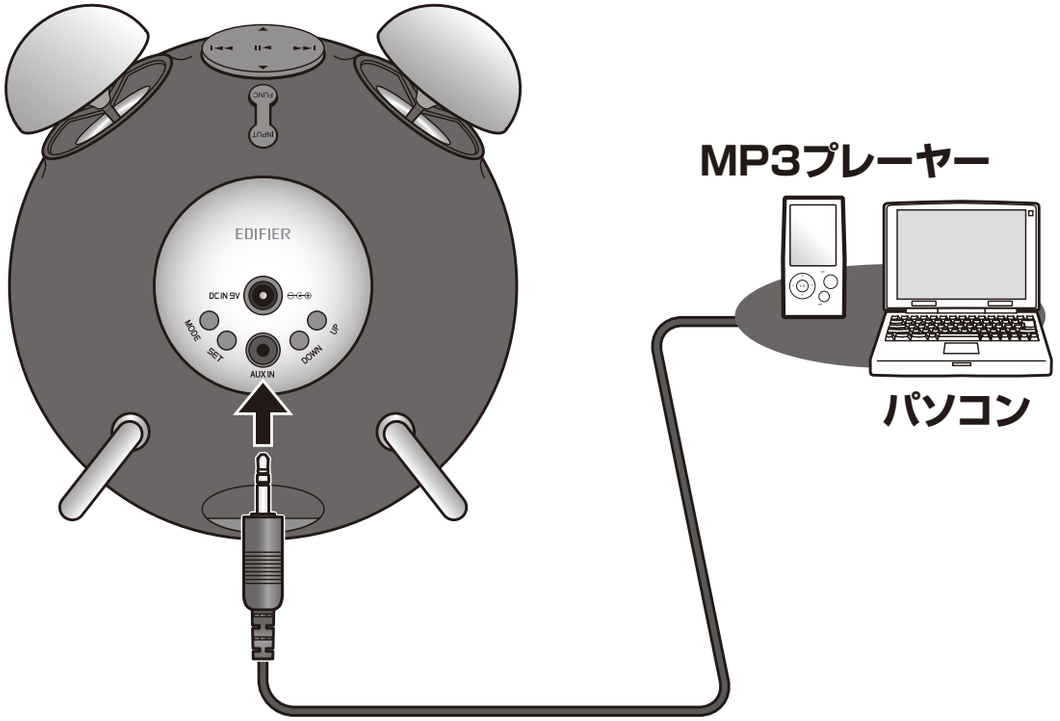
AC アダプターを接続して電源ケーブルをコンセントに接続すると電源がオンになります。
電源オンの時は LCD が点灯します。

電源をオフにする場合

電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

スピーカーとオーディオケーブルで接続する

付属の「3.5mm ステレオミニプラグケーブル」を使用して、MP3 プレーヤーや DVD プレーヤーと接続して音声の再生を楽しむことができます。



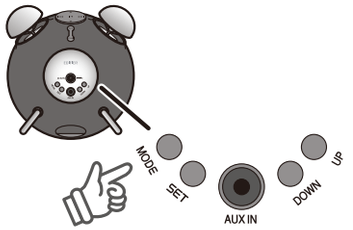
⚠注意

・ オーディオケーブルを接続して音声を再生する場合、「音量の調整」のみ操作可能です。
・ 音声を再生する前に、再生側の機器の音量を最小にして徐々に音量を調整してください。

時刻を設定する

⚠注意　設定中に一定時間操作が無い場合、自動的に元の画面に戻ります。元の画面に戻った場合は最初から操作を行ってください。

設定方法



1. ［MODE］ボタンを押して、LCD 表示を日時表示に切り替えます。
2. 日時表示の状態で［SET］ボタンを押すと、「年」表示が点滅して設定画面に変わります。
3. 「年」表示が点滅中に［UP］または［DOWN］を押して設定値を変更します。
4. 設定が完了したら［SET］ボタンを押します。
5. 次の設定項目が点滅表示されます。
6. 上記の操作を繰り返し、「年」→「月」→「日」→「12/24 時間表示」→「時」→「分」を設定します。
7. 「分」の設定が完了したら、自動的に元の画面に戻ります。

アラーム設定

あらかじめ設定した時刻にアラームを鳴らすことができます。
アラーム設定は、5 つまで設定することができます。

設定方法

1. **［MODE］ボタンを押して、LCD 表示をアラーム表示に切り替えます。**
2. **アラーム表示の状態で［SET］ボタンを押すと、「A1」表示が点滅してアラーム設定 1 の設定画面に変わります。**

> HINT
> アラーム設定 2 ～ 5 を設定する場合は、「A1」が点滅している状態で［UP］または［DOWN］を押して表示を切り替えてください。

3. **「A1」表示が点滅している状態で［SET］ボタンを押すと「OF」が点滅します。**
   ［UP］または［DOWN］を押して「On」に切り替えて、［SET］ボタンを押します。
4. **時刻の「時」が点滅します。［UP］または［DOWN］を押して設定値を変更します。**
   設定が完了したら［SET］ボタンを押します。
5. **「分」が点滅します。［UP］または［DOWN］を押して設定値を変更します。**
   設定が完了したら［SET］ボタンを押します。
6. **「FM」が点滅します。再度［SET］ボタンを押します。**
7. **「プリセット番号」が点滅します。**
   ［UP］または［DOWN］を押して FM のプリセット番号を変更します。設定が完了したら［SET］ボタンを押します。

8. **「ボリューム」が点滅します。**
［UP］または［DOWN］を押して音量を変更します。設定が完了したら［SET］ボタンを押します。（音量 10 ～ 30 までの間で設定可能）

9. **「曜日」が点滅します。**
［UP］または［DOWN］を押してアラームを使用する曜日を「平日のみ」か「毎日」のいずれかから選択します。設定が完了したら［SET］ボタンを押します。（Weekday：平日のみ、everyday：毎日）

10. **アラームが有効になり、画面右上に「アラーム」の表示が点灯します。**

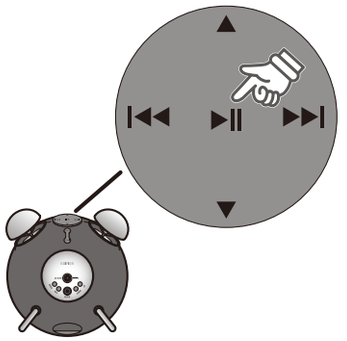
アラームが鳴動した場合

⚠注意 本製品のアラームは一般的な電子音ではなく、あらかじめプリセットされた周波数のラジオ放送になります。

設定方法

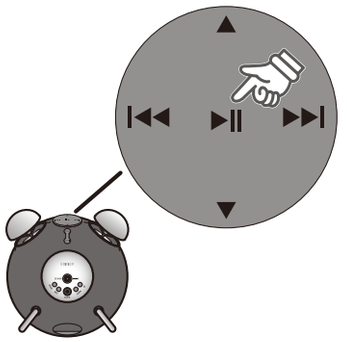
1. **LCD 表示が点滅して、アラーム（あらかじめプリセットされたラジオ放送）が鳴動します。**
何も操作しない場合、10 分間鳴動します。

2. **「再生／一時停止」「スキップ」「音量」のいずれかボタンを１回押すと、LCD に「スヌーズ」が表示され、10 分後に再度アラームが鳴動します。**
スヌーズはアラームを完全に停止するまで３回繰り返します。



アラームを完全に停止する場合

アラームを完全に停止する場合は、LCD に「スヌーズ」が表示されている状態で、「再生／一時停止」「スキップ」「音量」のいずれかボタンを長押しします。（ラジオ放送に切り替わります。）



スリープタイマー

スリープタイマーでは、タイマー設定した時間が経過した時に、本機をスタンバイ状態にすることができます。

設定できる時間は「15 分」「30 分」「45 分」「60 分」「75 分」「90 分」です。

設定方法

1. **［MODE］ボタンを押して、LCD 表示をアラーム表示に切り替えます。**
2. **「SLEEP」が表示され、「--」表示が点灯します。**

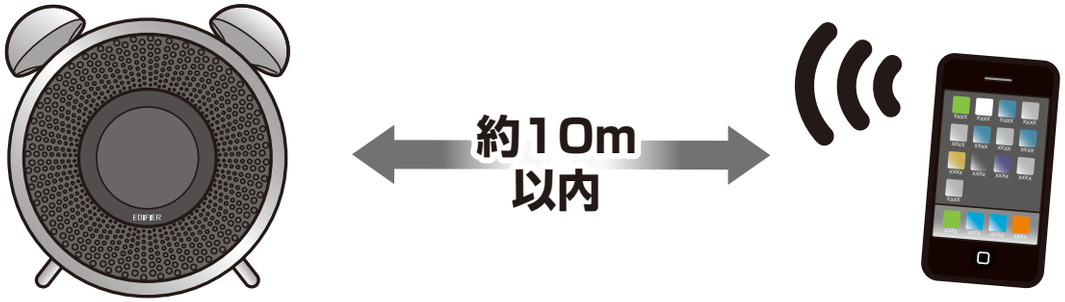
3. **［SET］ボタンを押します。**
4. **［UP］または［DOWN］を押して設定値を変更します。設定が完了したら［SET］ボタンを押します。**
   スリープタイマーが有効になり、画面下部に「SLEEP」の表示が点灯します。

設定した時間が経過すると、自動的に時刻表示（スタンバイ状態）に移行します。

スピーカーと Bluetooth で接続する

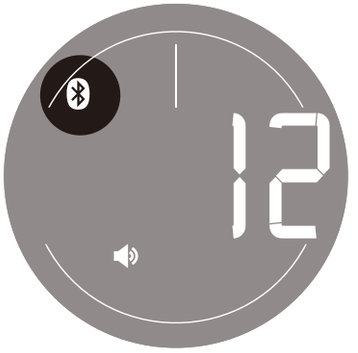
Bluetooth を使用して、ワイヤレスでスピーカーに接続して音声の再生を楽しむことができます。

HINT 本機と再生機器との距離は、必ず 10 m以内でご使用ください。ご使用環境により、10m 以内でも正常に接続できない場合があります。予めご了承ください。



設定方法

1. **［INPUT］ボタンを押してモードを切り替え、Bluetooth のアイコンを表示させてください。**
2. **Bluetooth のアイコンが点滅し、検索を開始します。**
3. **再生機器の Bluetooth 機能をオンにして、Bluetooth 機器の検索を開始します。**
4. **「EDIFIER Tick Tock BT」が検出されたら接続します。接続する際パスキーを要求された場合は、「0000」（ゼロ 4 個）を入力します。**
5. **正しく接続された場合、Bluetooth スピーカーとして、音楽を再生できるようになります。**
   （Bluetooth のアイコンが点灯します。）



⚠注意	・再生機器の操作方法およびBluetooth機器の検索方法については、各機器に付属している取扱説明書を参照してください。 ・Bluetooth機器の検索が正しく行われない場合は、スピーカー本体および再生機器の電源を入れ直してください。 ・音声を再生する前に、再生側の機器の音量を最小にして徐々に音量を調整してください。

ラジオを聴く

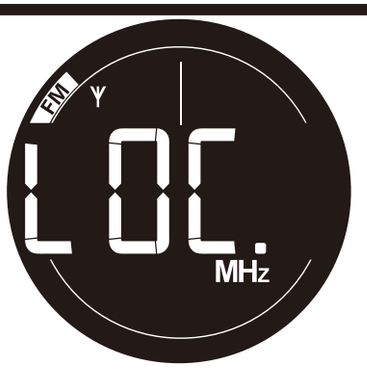
［INPUT］ボタンを押してモードを切り替え、FM のアイコンを表示させてください。

放送局を選局する

1. **［スキップ］ボタンを押します。**
2. **自動的に受信可能な放送局を選局します。**

地域を選択する

1. **「FM」が表示されている状態で［FUNC］ボタンを長押しすると、LCD に「LOC」が表示されます。**
2. **［スキップ］ボタンを押して地域を選択します。日本の場合は「JAP」です。**
3. **地域を選択したら［FUNC］ボタンを押します。**



放送局を自動的に検索してプリセットする

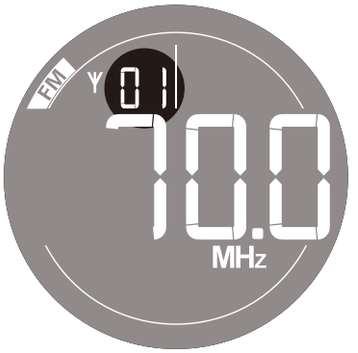
使用中の地域で受信できる放送局を自動的に検索して、プリセットに割り当てることができます。

1. **［FM］モードの時に［FUNC］ボタンを押して設定を切り替え、［SECH］を表示させてください。**
2. **［SECH］が表示されている状態で［再生／一時停止］ボタンを 1 回押すと、自動的に検索を開始します。**
   検出された放送局は、［スキップ］ボタンを押すことで選局することができます。

プリセットされた放送局を選局する

> **⚠注意** あらかじめを「放送局を自動的に検索してプリセットする」（P.25）参照して、プリセットを行ってください。

1. ［スキップ］ボタンを押します。
LCD にプリセット番号が表示され、プリセットされた放送局が選局されます。

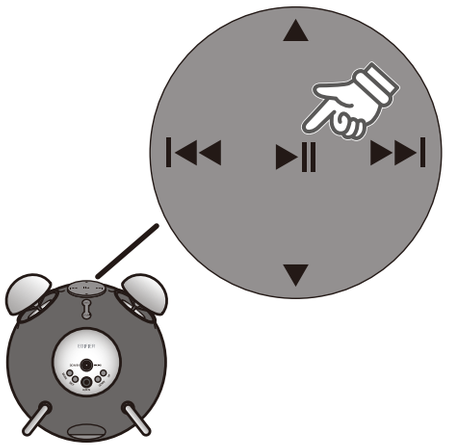


手動で周波数を調整する

1. ［FM］モードの時に［FUNC］ボタンを押して設定を切り替え、［TUNE］を表示させてください。
この状態で［スキップ］ボタンを押すと周波数を「0.1MHz」調整することができます。

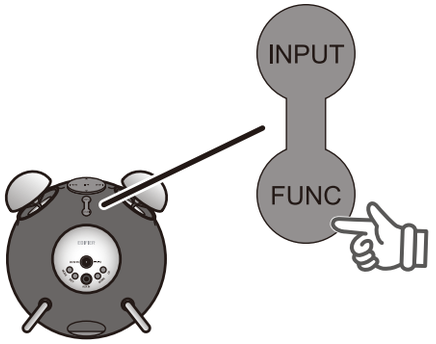
音声をミュートする

ラジオまたは外部入力で再生中に、［再生／一時停止］ボタンを押すと音声をミュートすることができます。
ミュート中は LCD の「FM」、「AUX」表示が点滅します。
ミュートを解除する場合は、再度［再生／一時停止］ボタンを押します。



本機をリセットする

1. **［再生／一時停止］ボタンを押して、再生中の音声を一時停止（ミュート）します。**
2. **LCD に「U106」と表示されるまで、[FUNC］ボタンを長押しします。**
3. **［再生／一時停止］ボタンを押します。**
   自動的に時刻表示（スタンバイ状態）に移行します。
4. **電源ケーブルを抜き差しします。**



困った時は

Q スピーカーと Bluetooth 接続できない。

A
- スピーカー本体の接続モード（LCD の表示）をご確認ください。それでも改善しない場合はスピーカー本体および Bluetooth 機器の電源を入れ直してください。

Q TickTock BT 本体での曲のスキップ／前に戻る操作ができない。

A
- 再生機器の Bluetooth 機能が、AVRCP プロファイルに対応している必要があります。対応していない場合、これらの操作はできません。

Q ラジオが聞こえない、ノイズが入る。

A
- 本製品のラジオのアンテナは内蔵されています。ラジオが聞こえる位置、ノイズが入らない位置に移動させてください。

仕様

スピーカー	スピーカーユニット	直径 40mm、防磁型、8 Ω
	実用最大出力	4W × 2
S/N 比	90dB 以上	
歪み率	0.5% 以下	
再生周波数帯域	90Hz ～ 20,000Hz	
入力端子	Bluetooth、3.5mm ステレオミニジャック	
適合規格	Bluetooth V2.1+EDR Class 2	
周波数範囲	2.4GHz ～ 2.4835GHz	
対応プロファイル	A2DP、AVRCP	
FM ラジオ受信周波数	76.0 ～ 108.0MHz	
通信距離	約 10m	
電源	AC アダプター（入力：100-240V　0.7A　50/60Hz、出力：9V　1.3A）	
外形寸法	（W）130 ×（D）89 ×（H）126（mm）	
質量	0.5kg	

ユーザー登録について

弊社ホームページ にて、ユーザー登録ができます。

URL http://www.princeton.co.jp/support/registration/index.html

※ ユーザー登録されたお客様には、弊社から新製品等の情報をお届けします。
※ ユーザー登録後に、本製品を譲渡した場合には、ユーザー登録の変更はできませんので、ご了承ください。

テクニカルサポート

製品のよくあるご質問について

製品についてよくあるご質問を紹介しています。

URL http://faq.princeton.co.jp/

製品情報や対応情報について

最新の製品情報や対応情報を紹介しています。

URL http://www.princeton.co.jp/

Web からのお問い合わせ

URL http://www.princeton.co.jp/contacts/index.html

その他

TEL 03-6670-6848 ※つながらない場合は、E-mail でのお問い合わせもご利用ください
受付：月曜日～金曜日の 9：00 ～ 12：00、13：00 ～ 17：00（祝祭日および弊社指定休業日を除く）

MEMO

MEMO

製品保証に関して

・万一、正常な使用状態において製品のご購入から 2 年以内に製品が故障した場合は、弊社による故障の原因等の確認完了後、修理 / 製品交換対応させていただきます。なお、修理にて交換された本体および部品に関しての所有権は弊社に帰属するものといたします。
・修理／製品交換の有償無償の判断につきましては、弊社または弊社指定の保守会社により行わせていただきます。
・保証の対象となる部分は製品部分のみで、添付品や消耗品は保証対象より除外とさせていただきます。
・本製品の故障また使用によって生じた損害については、保証の範囲外となり、直接的・間接的問わず、弊社は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。
・弊社は商品どうしの互換性問題やある特定用途での動作不良や欠陥などの不正確な問題に関する正確性や完全性については、黙示的にも明示的にもいかなる保証も行っておらず、互換性問題や特定用途での動作不良等により発生する障害、損害、損失等について一切の責任を負いません。
・一度ご購入いただいた商品は、弊社にて商品自体の不良が確認されない限り、返品または交換はできません。対応機種間違いによる返品はできませんので予めご了承ください。

■保証期間内であっても、次の場合は保証対象外となり有償修理となります。

・ご購入履歴が確認できない場合。
・保証書のご提示がない場合。または記入漏れ、改ざん等が認められた場合。
・取扱説明書記載の動作条件ならびに機器設置環境を満足していない場合。
・弊社もしくは弊社指定の保守会社以外での修理、調整、改造、部品交換に起因した故障および損傷。
・設備、環境の不備等、使用方法および、注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障および損傷。
・お客様が独自にインストールされたソフトウェアに起因して生じた故障および損傷。
・お客様の故意または重過失により生じた故障および損傷。
・お客様の責に帰すべき事由により生じた機能に影響のない外観上の損傷。
・接続している他の機器に起因して生じた故障および損傷。
・お買い上げ後の輸送や移動による落下、水などの液体こぼれ、水没等不適当なお取り扱い、または使用の誤りにより生じた故障および損傷。
・火災、地震、水害、塩害、落雷、その他天地異変、異常電圧などにより生じた故障および損傷。
・オークションなどの個人取引や中古品として製品を入手した場合。

■保証期間内であっても、次の場合は無償 / 有償問わず一切の保証はありません。

・盗難された場合。
・紛失した場合。

■お買い上げ製品の故障もしくは動作不具合により、その製品を使用したことにより生じた直接、間接の損害、HDD 等記憶媒体・記憶装置に記憶されたデータ、プログラムならびに設定内容の消失、破損、変更等により生じる損害、逸失利益、ダウンタイム（機能停止期間）、顧客からの信用喪失による損害、設備および財産の損害、設備等の交換費用、お客様および関係する第三者の製品を含むシステムのデータ、プログラム、またはそれらを修復する際に生じる費用（人件費、交通費、復旧費）等、一切の損害につき弊社は、その責任を負いません。また、限定保証の明記がされていない場合であっても、弊社は、契約上または法律上の一切の責任を負いかねます。

■弊社は、製品を運用・使用した結果生じるあらゆる影響につき、一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

■消費者契約法等により弊社が賠償責任を負うこととなる場合、弊社はお客様が購入された弊社製品などの価格相当額を超えて賠償責任を負うものではありません。

製品修理に関して

・保証期間内の修理は、弊社テクニカルサポートまでご連絡いただいた後、故障品を弊社まで送付していただきます。故障品送付の際、弊社までの送料はお客様のご負担となりますことを予めご了承ください。修理完了品または代替品をご指定の場所にご送付させていただきます。
・動作確認作業中および修理中の代替品・商品貸し出し等はいかなる場合においても一切行っておりません。
・お客様に商品が到着した日から 1 週間以内に、お客様より弊社に対して初期不良の申請があった場合で、なおかつ弊社側の認定がなされた場合にのみ初期不良品として、正常品もしくは新品との交換をさせていただきます。その際はご購入時の梱包、箱、保証書などの付属品等が全て揃っていることが条件となります。
・修理品に関しては「製品保証書」を必ず同梱し、下記「お問い合わせについて」に記入された住所までご送付ください。
・製造終了等の理由により交換商品が入手不可能な場合には同等品との交換となります。
・お客様の設定、接続等のミスであった場合、また製品の不良とは認められない場合は、技術料およびチェック料をいただく場合がございますので予めご了承ください。
・お客様の御都合により、有料修理の撤回・キャンセルを行われた場合は技術作業料および運送料を請求させていただく場合がございますので予めご了承ください。
・サポートスタッフの指示なく、お客様の判断により製品をご送付いただいた場合で、症状の再現性が見られない場合、および製品仕様の範囲内と判断された場合、技術手数料を請求させていただく場合がございますので予めご了承ください。

修理／お問い合わせについて

■テクニカルサポート・商品および保証に関するお問い合わせ先

テクニカルサポート
〒101-0032　東京都千代田区岩本町3-9-5　K.A.I.ビル 3F　プリンストンテクノロジー株式会社　テクニカルサポート課
TEL：03-6670-6848（受付：月曜日から金曜日の 9：00～12：00、13：00～17：00 祝祭日および弊社指定休業日を除く）
Webからのお問い合わせ：http://www.princeton.co.jp/contacts/index.html

製品保証規定

保証期間
2年保証

●お買い上げいただいた製品が、取扱説明書等に従った正常な使用状態で万一故障した場合に、本保証規定に従い無料にて故障の修理をいたします。

●修理の際には製品と本保証書をご提示または添付の上、ご依頼ください。

●保証期間内であっても、次の場合には有償修理となります。

1）ご購入履歴が確認できない場合。
2）本保証書のご提示がない場合。または記入漏れ、改ざん等が認められた場合。
3）弊社もしくは弊社指定保守会社以外での修理、調整、改造、部品交換に起因する故障および損傷。
4）接続している他の機器に起因して生じた故障および損傷。
5）お買い上げ後の輸送や移動による落下、水などの液体こぼれ、水没等不適当なお取り扱い、または使用上の誤りにより生じた故障および損傷。
6）火災、地震、水害、塩害、落雷、その他天地異変、異常電圧などにより生じた故障および損傷。
7）寿命を有する部品や消耗品（バッテリー、乾電池等）の自然消耗、摩耗、劣化等による場合。

●本保証書は、日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan）

●免責事項、製品保証に関しての記載も併せてご覧ください。

保 証 書

製品型番：　　シリアルNo.

保証期間：お買い上げ日　　年　　月　　日　から2年間

フリガナ

お客様名：　　様

〒

住所：

電話番号：　　－　　－　　E-mail ：

販売店名・住所・電話番号（販売店印）

印

Princeton プリンストンテクノロジー株式会社

本社〒101-0032　東京都千代田区岩本町3-9-5　K.A.I.ビル3F
URL：http://www.princeton.co.jp

マニュアル第1.0版、2012年9月
IB-400-M0240B-00

Edifier International Ltd.,
Suite 1610
16th Floor, Tower II,
Lippo Centre,
89 Queensway
Hong Kong

Tel: +852 2522 6989
Fax: +852 2522 1989
www.edifier-international.com

© 2012 Edifier International Limited. All rights reserved.
© 2012 Princeton Technology,Ltd. All rights reserved.

Printed in China

製造元：Edifier International Ltd.,
輸入·販売元：プリンストンテクノロジー株式会社

注意
本書に記載の情報は、技術の改良、システムのアップグレードなどのため、予告なく変更されることがあります。
Edifier の製品は、さまざまな用途を考慮してカスタマイズされます。このマニュアルの図や写真は実際の製品と異なることがあります。その場合、実際の製品設計が優先します。
本書の著作権はプリンストンテクノロジー株式会社にあります。
本書の一部または全部を無断で使用、複製、転載することをお断りします。
その他、本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標、および登録商標です。
本書では® ™ は明記しておりません。
本機器の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねます。
予めご了承ください。